

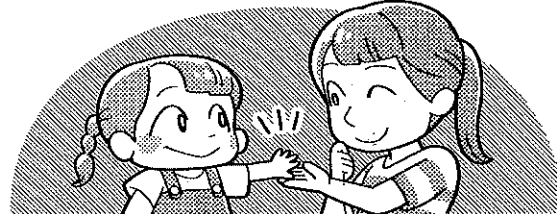
ほけんニュース

こどものみらい保育園
電話 048-598-7035

定期的に爪を切りましょう

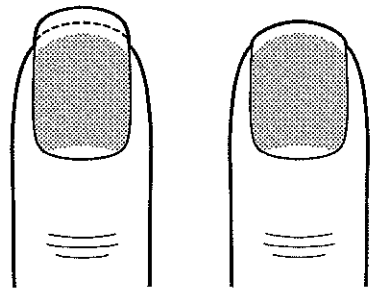
子どもの爪が伸びていると、さまざまなトラブルを引き起こしやすくなります。

爪が伸び過ぎていないか、定期的に確認して、こまめに切るようにしてください。

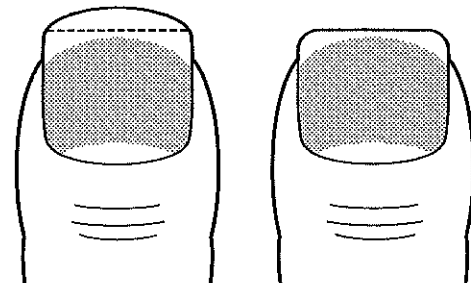


「切り過ぎない」のがポイント

手 指のカーブに沿って、端から少しずつ切ります。白い部分は少し残します。

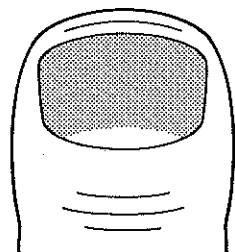


足 爪の白い部分を少し残して、まっすぐに切り、角は少し丸くします。

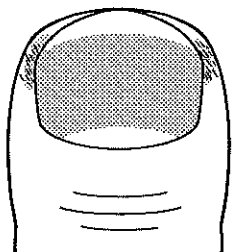


避けてほしい足の爪の切り方

×深爪



×角の切り落とし



深爪や三角切りをすると、皮膚に爪が食い込んで炎症を起こしたり、巻爪になったりして、強い痛みが出てしまいます。

※爪切りには、ネイルクリッパー(一般的なもの)と、ニッパータイプがあります。クリッパーは切る時の圧力が大きく、爪への負担を考えるとニッパーがよいとされています。子どもの場合、深爪になったり、皮膚の先端を傷つけたりすることがあります。うまく切れない時は、薄い爪にも負担が少ない、赤ちゃん用の爪切りやはさみ、やすりを使ってください。

子どもに多い爪のトラブル

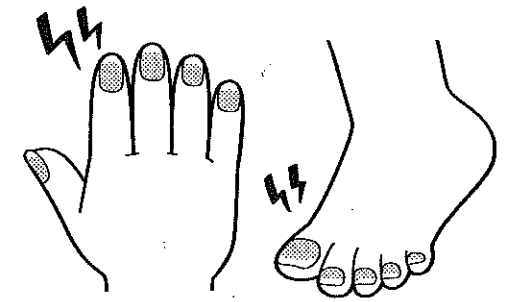
友だちにけがをさせる

爪が伸びていると、友だちに当たった時に、傷をつけてしまうことがあります。



爪が折れる・剥がれる

子どもの爪は柔らかく、伸びすぎると折れたり剥がれたりしやすくなります。



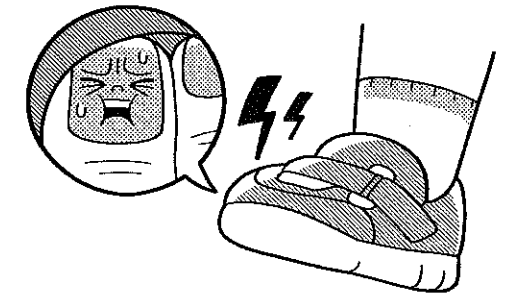
かみ癖による爪の変形

かむことで爪がぎざぎざになり、炎症が起きたり、爪が変形したりします。



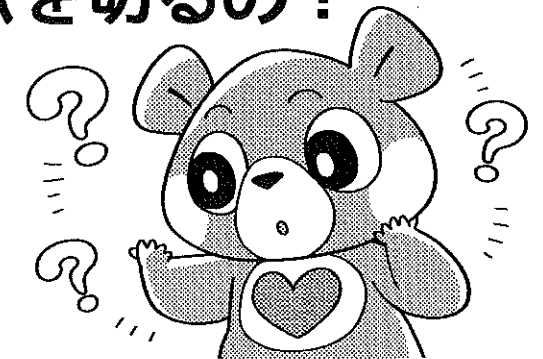
合わない靴による足の爪の変形

きつい靴や大き過ぎる靴をはくと、圧迫や衝撃で爪が変形しやすくなります。



どうして爪を切るの？

伸びた爪と指の間に、汚れやばい菌が入ってしまうからです。また、伸びた爪が折れてしまったり、友だちに当たってけがをさせたりすることもあります。爪はきちんと切っておきましょう。



監修 宮城県仙台市 かわむらこどもクリニック 院長 川村和久先生